

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年 12月 26日

- 会長 小川 芳男
- 幹事 大矢 克巳
- 会報委員長 中 恒夫

大東ロータリー会長テーマ

「輝かしい伝統を心に・変革を！」

2015年~2016年度
国際ロータリーのテーマ

世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー会長
K.R. ラビンドラン

平成27年11月10日 No.2312 H27.10.27 (No.2311の例会記録)

今週の卓話 (11月10日)

「ロータリー財団月間に因んで」
ロータリー財団委員会 大西 寛治 委員長

次週の予定 (11月17日)

「夜間例会」
社会奉仕委員会 佐藤 多加志 委員長

先週の例会報告

◆ 出席報告 (10月27日分)

会員数 41名 出席数 37名 欠席者2名
特定免除 2名 その他免除 0名
出席率 94.87%

前々回10月6日分

ホームクラブの出席者 16名 51.61%
メイクアップの結果 29名
特定免除10名 その他免除 0名
欠席者 2名 修正出席率 93.55%

ゲスト

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 立野 純三 氏

ロータリーソング

「奉仕の理想」「四つのテスト体操」



ニコニコ箱

ガバナー公式訪問につき割愛



会長の時間

3 クラブの会長を代表して会長の時間を務めさせていただきます。

立野ガバナーにおかれましては公私ともにお忙しい中、ようこそお越しくございました。

本日は、3クラブ合同例会を開催してのガバナー公式訪問の日ですので、先程、別室にて3クラブ会長幹事と共にクラブの現況報告をさせて頂きガバナーより色々ご意見を聞かせて頂きました。



本年度は、ガバナーからクラブ戦略計画委員会の設置を勧められており、各クラブが、それぞれの実情にあわせて委員会の設置等を進めているようです。当大東ロータリークラブも会長年頭の方針に委員会名を載せるか載せないか、会員増強をこの委員会でするしない等若干の紆余曲折があり、クラブ戦略計画委員会と会員増強特別委員会の2つの特別委員会を設置しすでにスタートしています。2660地区の本年度の予算は、大ナタを振るっての予算を組まれてスタートされています。

当クラブも会員減少に伴う予算の見直し事業の見直しをこの数年各年度の担当者が腐心をされています。また役員理事委員長の要請も会員減少によりいくらかの工夫が必要になってきております。

ガバナーをお迎えしての3クラブ合同例会の場であまり汲々としたお話をすることは本意ではありません。反対に、このクラブ戦略計画委員会を設置することにより私たちは、明日への飛躍のチャンスを手にしたと考えています。そしてこのチャンスを実効性のあるものに育てる事こそが、私たちの責務と考えており、このことをガバナーにご報告することで、会長の時間とさせていただきます。

2015～2016年度

社会奉仕委員会 情報集会のお知らせ

情報集会を下記の通り開催いたします。

ご出席の程お願い申し上げます。

日 時	2015年11月17日 (火)
	夜間例会 18:00～ (例会後より情報集会)
場 所	まんま家
会 費	3,000円





「 ガバナー公式訪問 」

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 立野 純三 氏



皆さん、こんにちは。2660地区2015～16年度ガバナーを仰せつかっております立野です。よろしくお願ひします。

大東ロータリークラブ、大東中央ロータリークラブ、四條畷ロータリークラブには、地区に対して長年素晴らしい方々に出向していただき、運営事業に貢献をいただき感謝しております。

本年は、大東ロータリーからは、空門さんがインターアクト委員会にご出向いただいております。大東中央ロータリーからは、岩本さんがガバナー補佐として私を全面的にサポートしていただいております。有難うございます。

まず、最初にこの1月にアメリカ サンディエゴで開催されました国際協議会初日の晩餐会で、ラビンドランRI会長が熱い思いで話された本年度RI会長テーマを5分程度にまとめました映像をご覧いただき、その後私が本年度方針の中で、7つの重点項目を掲げておりますが、その中から3クラブにご参考になればと思う項目をお話させていただきます。最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のビデオをご覧いただきます。

皆さん、今ラビンドランRI会長が熱い思いで語られているビデオを見て頂きましたが、どの様に感じられたでしょうか。私はサンディエゴでお話をお聞きした時は、本当に感動しロータリーに対する考え方に共感致しました。

本年度のRIテーマは『世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world』です。2660地区の方針は『変革を！ロータリーを通じて奉仕（プレゼント）を！』です。大東ロータリー 小川会長は、本年度の方針を『輝かしい伝統を心に・変革を！』とされ過去から未来への懸け橋の年度として伝統の継続と変革に情熱をもって取り組んでいきたいと言っておられます。また、2年後の50周年を迎えるにあたり輝かしい伝統をもつクラブに見合った変革をしなければならないとし、会員相互の親睦がクラブにとって最も重要なテーマだと考えておられます。

大東中央ロータリー 長崎会長は、本年度は、わがクラブの特徴でもあり、良いところでもある女性の力と、それを理解するクラブメンバーの力を多きに引き出し、事業に親睦に、そして創立20周年を大いに祝おうとおっしゃっておられます。

四條畷ロータリーは、クラブを存続させるためにも、まず会員増強に取り組み成果をあげていただくことをお願ひしたいと思ひます。





先程も申し上げましたが、本年、私は地区方針の中で重点項目を7つ掲げております。その中に戦略計画委員会を各クラブにぜひ立ち上げて頂きたいとお願いしています。そこで、戦略計画委員会についてですが、一般的なロータリークラブとして、私の考えをお話させていただきます。

新入社員として入りたくなる会社とは、「働いて楽しい」「堅実に成長している」「業界で光っている」「リーダーが素晴らしい」「給与がいい」等、様々な理由があると思うのですが、いま私達ロータリークラブが他のボランティア団体と比べてみて、入会しようと思う人を引き付ける事が出来るどんな魅力があるのでしょうか。そこで私は、各クラブに戦略委員会を立ち上げていただき、魅力があり、活気があり、楽しく存在感のあるクラブにする為には、どのように変化させるのかを中長期ベースで考えて頂きたいと思っています。もし、人数が少なくても専門の委員会を立ち上げるのが大変だと思われるクラブであれば、他の委員会の中で、中長期の戦略を検討していただいても結構かと思えます。皆さんの企業においても中長期の戦略計画をたて、売上・利益・将来の自社の存在価値を高めることを目標に掲げ、日々達成するために努力をしておられると思います。しかしながら、ロータリーは単年度制です。毎年 RI 会長テーマ、地区ガバナー方針、クラブ方針がその年ごとに変わり、継続性がありません。単年度制の良さは、その年の会長の思いをクラブに反映させることができ、特色がだせる事だと思えます。しかし一方で、クラブが抱えている重点テーマを単年度で解決することは難しいでしょう。クラブにあったテーマを見つけだし、中長期で取り組み結果を出すことが出来れば、内部からみて楽しく素晴らしい、外部から

見て魅力のあるクラブにしていただけると思えます。3クラブによってそれぞれ重点テーマはもちろん違うでしょう。大東ロータリーは、会員減少を始めとする諸問題があるでしょう。大東中央ロータローは、3～5年先を見据えたクラブ運営、四条畷ロータリーは、クラブの存続について等、それぞれのクラブにあったテーマを決めて、一年一年、年度が変わろうとも継続し、年ごとに進み具合をチェックして、定めた目標を達成して頂きたいと思えます。各クラブには、何かキラリとひかる魅力やセールスポイントがあると思えます。クラブのコア<中心となる部分>、それをより一層輝かせる事が出来るかどうかはクラブの差別化を生むと考えます。

3クラブは、それぞれが素晴らしいクラブです。メンバーの方々も活発に奉仕活動をされていますし、クラブ内の親睦も深く、充実したクラブライフを過ごしておられると聞いております。

参考までにですが、私のホームクラブである大阪ロータリーも昨年、戦略計画委員会を立ち上げ、5月にはアンケートを実施しました。アンケートの内容は、「大阪ロータリー会員数はどうすべきか」「大阪ロータリーの例会運営について」「大阪ロータリーの公共イメージ、将来どうあるべきか」等でした。アンケートの回答に基づき問題点を探り、今戦略計画委員会で検討をしています。大阪ロータリーを今以上に活気あふれる明るく楽しいクラブに改革をさせていくつもりです。





次に、ロータリー財団のグローバル補助金、地区補助金についてお話をさせていただきます。3クラブはそれぞれに、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕において素晴らしい奉仕活動を展開されておられます。ここで、私の国際奉仕の原点といえますか、興味をもたせてくれたきっかけについて少しお話をさせて頂きたいと思います。私が大阪青年会議所時代に、何か国際的な社会貢献をしたいと考えていた時に、国際婦人福祉連盟の有志の方々と一緒に1986年、世界的NGO団体セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの設立に携わりました。自分のライフワークとして18年間にわたり、この団体の理事長を務めさせて頂きました。セーブ・ザ・チルドレンと申しまして、ご存じない方も多いと思いますので簡単に概略をご説明させて頂きます。

第一時世界大戦後の1914年、戦災で両親や家を失ったヨーロッパの悲惨な状況にあった子供達をみかねたイギリスのエブランタイン・ジョブ女史が、これらの恵まれない子供達を救うことを目的として始めた団体です。ヨーロッパやアメリカでは有名な団体で信頼もされています。今、世界で30の加盟国が120ヶ国で活躍をしています。なぜ私が18年間もこの団体のお手伝いが出来たのかと言いますと、最初にフィリピンギマラス島にお金の寄付をして村中の人と一緒に小学校を建設しました。その小学校の竣工式に出席をした時、村中の人達から熱烈な歓迎を受けた事、そして何よりもその学校を使用する子供達が本当に素晴らしい笑顔で迎えてくれるのを見て、今迄経験したことのない感動を味わいました。それからは、フィリピン ピナツボ火山による被災者への緊急援助、ベトナムでの児童の栄養改善、ネパールでの学校建設や文具支給等、様々な活動に参加をし、再び子供達の素晴らしい笑顔を見たいという思いで、SCJの活動を続けてきました。まさに、奉仕活動は「百聞は一見にしかず」現地に行き、実情を理解して活動をすることが重要だと思いました。3クラブの皆さんも、今迄ロータリー財団に多くの寄付をされていると思いますが、頂いたご寄付はすべてグローバル補助金・地区補助金等として、海外の医療関係の改善、子供達の栄養改善、教育環境の改善、震災復興への取り組み等に活用されています。ぜひ、それぞれのクラブが取り組んでおられる社会奉仕や国際奉仕に一人でも多くの方が関心を持っていただき、活動して頂きたいとおもいます。きっと爽やかな感動を味わう事が出来ると思いますし、クラブの活性化にはこの上ないミッションになることは間違いないと考えます。これは私の個人的な考えですが、現地に行きニーズを引出し、それにこたえる形で奉仕活動をするのも大切ですが、そのボランティアの主旨を理解して寄付という形で協力をするのも大切だと思います。ぜひ皆様にご理解をいただき、ロータリー財団の奉仕活動のエネルギー、原資となる寄付にご支援をお願い致します。

次に人材育成についてお話をさせていただきます。

ロータリーの大きな役割のひとつとして、青少年を明日の社会を背負って活躍できるリーダーに育て、彼らにより良い未来を確かにする責務を負っています。ロータリアンは青少年奉仕のいろいろなプログラムに青少年に参加してもらい、地域社会やロータリークラブの未来を担う才能豊かな人材を育てています。青少年がリーダーシップ力を養う事や、学ぶことが出来るインターアクトクラブとローターアクトクラブがあります。イ





インターアクトクラブは、12歳～18歳までの若い人々を対象とした奉仕クラブです。毎年、2つの奉仕プロジェクトを実施しなければなりません。その中の1つは学校または地域社会に貢献するもの、もう1つは国際理解を推進するものとされています。ローターアクトは、18歳から30歳までの青年男女のための奉仕クラブです。目的は、青年男女が個々の能力開発に役立つ知識やスキルを身につけ、各地域社会の物質的、社会的なニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだにより良い信頼関係を築く機会を提供することとされています。そして、プログラムの中には、国際交流を通じて、国際感覚・語学力を学べる交換留学制度、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）等があります。日本には独自のプログラムとして、海外から留学している学生に対して経済的支援だけでなく、日本が世界の平和を求めていることを理解してもらい、将来、自国と日本の友好の懸橋として活躍をしていただく米山奨学生プロジェクトをおこなっています。

ぜひ、青少年育成に関わることが出来るインターアクトクラブ、ローターアクトクラブの設立に取り組んで頂ければ、有難いと考えます。

次に、ポリオのお話をさせていただきます。

ロータリーは1979年にフィリピンの子供たちにポリオ予防接種をはじめて以来、パートナー団体とともに懸命にポリオ常在国の子供達にワクチンを投与することによって、現在全世界でポリオの発症数を99%減らす事に成功しました。2015年の発症をみてみますと、アフリカのナイジェリアでは7月現在野生型ポリオの発症がないまま1年が経過。ソマリアでは昨年8月に発症以来この一年発症なし。ナイジェリアは9月にポリオ常在国リストから除外され、アフリカ全土で野生型ポリオの無発生期間が1年を経過しました。このままアフリカ全土で3年間、野生型ポリオの無発生期間が継続すれば、アフリカ地域でポリオフリーが宣言されます。残る常在国は、パキスタン・アフガニスタンの2ヶ国になりました。RIが2018年にポリオ撲滅を宣言できるように、ロータリアン全員一人ひとりがポリオ撲滅に関心をもってもらい、もし何か機会があればロータリーがポリオ撲滅に取り組んでいることをロータリーのブランディングの為にもPRしてもらうことをお願いします。撲滅が迫っている疾病なのに、なぜ依然としてハイレベルの予防接種活動とサーベイランスが必要なのか。それは、ポリオを撲滅するための唯一の方法だからです。仮に手をゆるめるようなことがあり、仮にわずかでもウイルスの拡大を許したら、ロータリーの長年の活動は全て水泡に帰すこととなります。簡単に拡大してしまうポリオの恐ろしさを皆さんもご存じのはずで、何十年もかけて築いてきたものが一瞬にして崩れ去ってしまうのです。あと少し、ファイナルインチです。2013年、国際ロータリーとゲイツ財団は、ポリオ撲滅活動のパートナーシップを拡大し、今後5年間、ロータリアンがポリオ撲滅に寄付をすれば、ゲイツ財団から2倍の寄付額が追加されます。ロータリーはポリオのない未来をプレゼントすると世界の子供達に約束しました。その為にも、会員一人当たり50ドル以上の寄付をロータリー財団へお願いします。なお、ポリオのない世界が実現すれば、今後20年間で400億ドル





～500億ドルの経済効果があると推測されます。私たちは「ポリオ」との闘いに勝たなければなりません。ぜひ、ロータリー財団へのご協力をお願いします。

最後に、もう一つのお願いがITです。

RIは大きく変わろうとしています。RIに対する要望や申請などは、全てITを利用しなければなりません。マイ・ロータリーに自らが登録していただく必要があります、登録をしていただくと、ウェブサイトから、自クラブの活動内容が確認出来たり、会員コーナーでは、「元気なクラブ作りのために」や「会員増強ガイド」など、充実したクラブづくりに役立つさまざまなリソースをダウンロードできます。ロータリー・クラブ・セントラルやその他オンライン・ツールを利用して、RIの内容やロータリーの動きが理解でき、きっとロータリー活動が楽しくなると思います。私もそうですが、3クラブの皆さんの中にも、ITを扱うのが苦手な方もおられると思いますが、ぜひトライして下さい。この7月1日から、ロータリーメンバーには新しい会員プログラム「ロータリー・グローバル・リワード」が始まりました。パソコン・スマートフォン・タブレット端末から利用できる新しいプログラムです。このプログラムを利用すれば、世界各地でレンタカー、ホテル、レストラン等の割引を受けることができます。ただし、割引を利用できるのは、繰り返しますが、マイ・ロータリーに登録した会員のみとなりますので、ぜひ登録をして活用して下さい。もしわからないことがあれば、地区広報委員会に問い合わせをいただければ、ご説明をさせていただきます。

それでは最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のビデオをご覧ください。今回は従来の地区大会と違って、少し変則的な開催となります。

一日目は、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会から始まり、晩餐会はリーガロイヤルホテルの宮川シェフが大阪産の旬の食材を使いおもてなしをさせていただきます。エンターテイメントとして、日本が誇る「関西二期会」によるウィンナオペレッタ 喜歌劇「こうもり」をお楽しみいただきます。二日目は、11時から世界的に活躍する若きアーティストのヴァイオリニスト庄司紗矢香さんとピアニスト小菅優さんの「夢のデュオ・コンサート」が開催されます。ぜひロータリアンの皆さんをはじめ、お子さん、お孫さん、ローターアクト、インターアクト、ご友人の方々、多くの方に素晴らしい演奏をお聞き頂きたいと思っております。メインの特別シンポジウムは“究極の職業奉仕”「関西発のイノベーション—最先端研究から創薬へ」のタイトルで、大阪大学 岸本名誉教授、京都大学 本庶名誉教授、お二人による基調講演とパネルディスカッションを開催致します。

尚、地区大会のご案内では申込締切日を9月30日としておりますが、10月末日まで追加申込をいただけます。どうか、晩餐会・コンサート・本会議・特別シンポジウムにふるってご参加いただきますようお願い申し上げます最後に、大東ロータリークラブ、大東中央ロータリークラブ・四条畷ロータリークラブの益々のご繁栄を祈念しまして、公式訪問を終わらせていただきます。有難うございました。





2015年10月28日

大東ロータリークラブ
会長 小川 芳男 様
幹事 大矢 克巳 様

拝啓 秋晴の候 貴クラブの皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は地区ロータリー活動に格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先日の公式訪問では大変お世話になり誠に有難うございました。皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。

2015～16年度のR I テーマは『Be a gift to the world』「世界へのプレゼントになろう」、
2015～16年度の地区方針は『変革を！ロータリーを通じて奉仕（プレゼント）を！』
です。

私達ロータリアンは社会から享受するだけでなく社会に貢献をし、ロータリーを通じて
奉仕（プレゼント）をすることで、クラブ・地区に変化をもたらし素晴らしい未来に
繋がっていくと思っております。

わたくしも、全力で職務を全うする所存でございますので、一層のご支援を賜ります様
宜しくお願い申し上げます。

まずは略儀ながらお礼方々ご挨拶申し上げます。

敬具

国際ロータリー第 2660 地区
ガバナー 立野 純三

※10月27日（火）ガバナー公式訪問され、卓話をして頂きました立野 純三ガバナーより
お礼状が届いております。載せさせて頂きました。

